

# 2018年12月期 第1四半期 決算説明会

井関農機株式会社  
取締役 副社長執行役員  
富安 司郎

2018年5月17日

# 目次

1. 2018年12月期 第1四半期業績の概要
2. 国内外市場の動向
3. 2018年12月期 業績予想
4. トピックス -営農普及サポートの取組み-

# 1. 2018年12月期 第1四半期業績の概要

# ※第1四半期業績のポイント

1～3月の状況(前年同期比)

## 国内販売会社

農機実売は4月以降回復の見通し  
収支構造改革は引続き効果を発揮

- 農機実売:(1～3月)96% (1～4月)101%
- 直系販社の収支構造改革効果:営業利益+1億円

## インドネシア 生産子会社 (PT.ISEKIインドネシア)

個社で黒字継続。  
事業全体は機種MIXの影響で前年並みに留まる

- インドネシア事業収益改善:営業利益±0億円  
(井関単体、国内製造所含む連結ベース)

## 中国 持分法適用会社 (東風井関)

補助金発表遅れ。持分法投資損益悪化

- 持分法投資損益:経常利益△2億円

# 連結業績の概要

(単位: 億円、%)

	17/12期 1Q		18/12期 1Q		前年 同期比	計画比
	実績	比率	実績	比率		
売上高	367	100.0	368	100.0	+ 1	△50
(国内)	285	77.8	284	77.1	△ 1	△23
(海外)	82	22.2	84	22.9	+ 2	△27
営業利益	△ 3	△0.7	△ 6	△1.6	△ 3	△ 3
経常利益	△ 4	△1.0	△ 9	△2.5	△ 5	△ 4
親会社株主に帰属する 四半期純利益	△ 6	△1.7	△ 3	△0.9	+ 3	△ 1
為替 米ドル	113.7		110.1		△3.6	+0.1
レート ユーロ	121.5		134.3		+12.8	+4.3

# 国内売上高

≫ 農機需要は弱含み推移も田植機は新商品効果で増収 (前年同期比)

(単位: 億円)

		17/12期1Q 実績	18/12期1Q 実績	前年同期比		計画比	
					備考		
農機 関連	農機 製品	整地機	76	72	△ 4	トラクタ : △ 2	△ 7
		栽培機	19	22	+ 3	直進田植機効果 田植機 : + 2	+ 1
		収穫調製機	30	28	△ 2	コンバイン: △ 1	△ 5
		小計	125	122	△ 3		△ 11
	農機 関連	作業機	47	49	+ 2		△ 2
		部品	27	27	± 0		△ 1
		修理収入	10	10	± 0		△ 1
		小計	84	86	+ 2		△ 4
	計	209	208	△ 1		△ 15	
	施設工事	28	27	△ 1		△ 6	
その他農業関連	48	49	+ 1		△ 2		
合計	285	284	△ 1		△ 23		

# 海外売上高

≫北米、欧州増収も中国での在庫調整や、  
 インドネシア向け出荷減により前年並みに留まる (前年同期比)

・フランス子会社のみ9月決算のため、10-12月実績を連結している

(単位:億円)

	17/12期1Q	18/12期1Q	前年同期比		計画比
	実績	実績		備考	
北米	10	25	+15	取引条件変更一巡 トラクタ: +14	△14
欧州	19	25	+6	新商品投入効果 トラクタ: +4	△12
中国	17	7	△10	現地在庫調整 田植機: △8	±0
アセアン	13	10	△3	トラクタ: +2 コンバイン: △6	+1
その他	13	9	△4	トラクタ: △3	△1
製品計	72	76	+4		△26
部品その他	10	8	△2		△1
連結合計	82	84	+2		△27

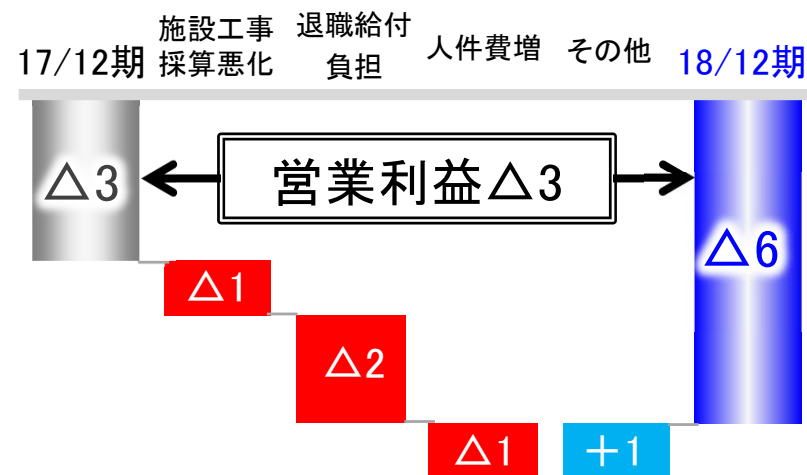
# 営業利益

》施設不採算工事など一時的要因もあり減益 (前年同期比)

(単位: 億円、%)

	17/12期 1Q 実績	18/12期 1Q 実績	前年 同期比	計画比
売上高	367	368	+1	△50
売上総利益	101	99	△2	△7
粗利率	27.5%	27.0%	△0.5%	+1.6%
販管費	104	105	+1	△4
人件費	61	62	+1	△1
その他経費	43	43	±0	△3
営業利益	△3	△6	△3	△3

## 【前年同期比増減内訳(億円)】



## 【為替影響(億円)】

売上	原価	販管費	営業利益
+1	△1	-	+0



# 経常利益、四半期純利益

≫ 為替差損益、持分法投資損益悪化により経常減益  
 連結納税制度適用により四半期純利益では増益

(前年同期比)

(単位:億円)

	17/12期 1Q 実績	18/12期 1Q 実績	前年 同期比	計画比
営業利益	△ 3	△ 6	△ 3	△ 3
金融収支	△ 2	△ 2	± 0	± 0
その他営業外損益	+ 1	△ 1	△ 2	△ 1
経常利益	△ 4	△ 9	△ 5	△ 4
特別利益	-	-	-	-
特別損失	-	-	-	+ 1
税前利益	△ 4	△ 9	△ 5	△ 3
税、税調整額	△ 2	+ 6	+ 8	+ 2
親会社株主に帰属する 四半期純利益	△ 6	△ 3	+ 3	△ 1

## 営業外損益増減内訳(前年同期比)

持分法投資損益	△ 2億円
為替差損益	△ 1億円

※連結納税制度適用に伴う税金費用減

# バランスシート(連結)

》北米AGCO社の在庫調整により棚卸資産増加 (前年同期末比)

(単位:億円)

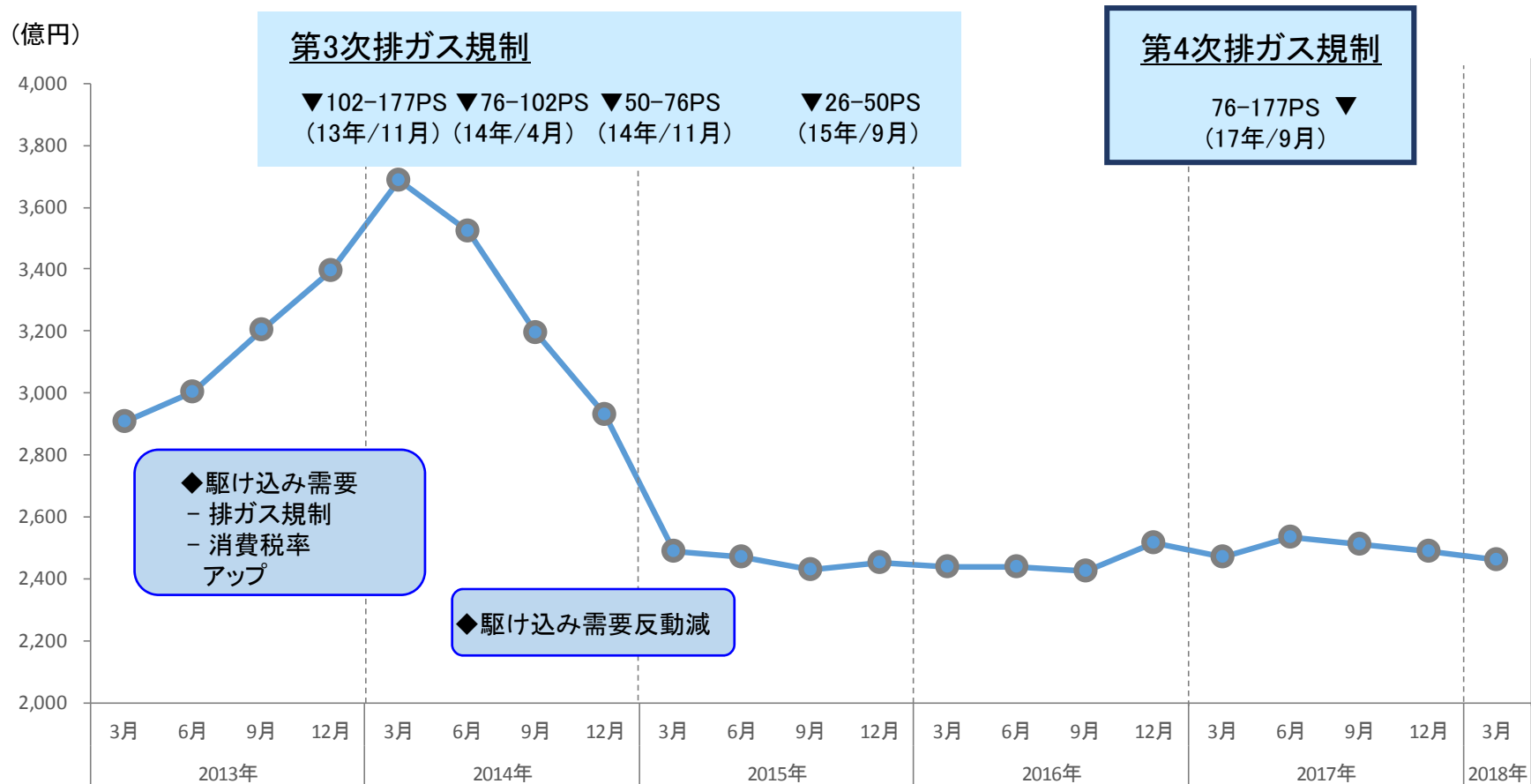
	17/3月末	18/3月末	増減		17/3月末	18/3月末	増減
現 預 金	87	84	△ 3	仕 入 債 務	445	445	± 0
売 上 債 権	332	323	△ 9	有 利 子 負 債	771	749	△22
棚 卸 資 産	542	565	+23	( 内 借 入 金 )	(692)	(683)	(△9)
( 内 製 品 ・ 商 品 )	(465)	(489)	(+24)	そ の 他 負 債	234	219	△15
そ の 他 流 動 資 産	49	45	△ 4	負 債 計	1,450	1,413	△37
流 動 資 産 計	1,010	1,017	+ 7	純 資 産	659	691	+32
有 形 ・ 無 形 固 定 資 産	974	967	△ 7	( 利 益 剰 余 金 )	(131)	(155)	(+24)
投 資 そ の 他 資 産	125	120	△ 5	( 有 価 証 券 評 価 差 額 金 )	( 11 )	( 12 )	(+1)
( 投 資 有 価 証 券 )	( 61 )	( 63 )	(+2)	( 為 替 換 算 調 整 勘 定 )	( 8 )	( 10 )	(+2)
固 定 資 産 計	1,099	1,087	△12	負 債 ・ 純 資 産 計	2,109	2,104	△ 5
資 産 合 計	2,109	2,104	△ 5				

## 2. 国内外市場の動向

# 国内市場の動向

≫ 需要は横ばいで推移

## 農機需要〔業界出荷〕(主要9機種・移動年計)



# 国内農機出荷と当社実売状況

≫ 需要は前年並み  
 販売会社実売は4月に入り回復

主要9機種 前年伸長率(金額、移動年計) ※当社推計

(単位: %)

		15/3	16/3	17/3	18/3
業界	(出荷金額)	67%	98%	101%	100%
当社	(実売金額)	73%	107%	91%	101%

国内販売会社 農機製品実売状況(前年伸長率)

(単位: %)

	1-3月	4月	1-4月
実売金額	96%	115%	101%

※実売は、建値で換算した販売会社12社の農機製品販売額。

# 国内 商品開発の強化

» 新商品直進アシスト田植機好調。当用期で更なる拡販図る

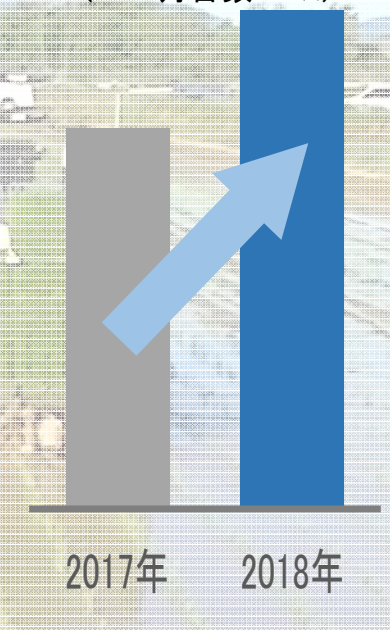
## 直進アシスト田植機(2017年12月発売)



GPSによる位置情報をもとに直進作業を補助し、不慣れな作業者でも簡単・きれいに植付けが可能!!



8条植え乗用田植機  
NP80実売  
(1~4月台数ベース)



# 国内 畑作・野菜作市場の推進強化

≫ 玉ねぎ移植機(北海道体系)今春デビューし好評

## 高精度、高能率を追求した“Z”

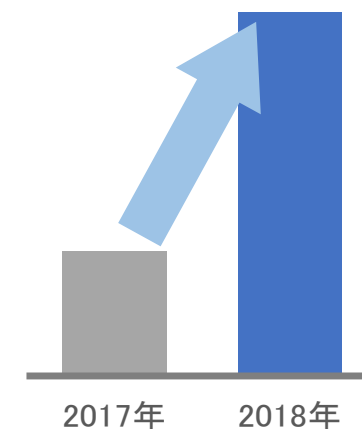
●植付速0.5~0.8m/秒で、最大1.5ha/日の高能率作業



高精度・高能率なたまねぎの移植作業を実現！  
北海道の主力産地で新型『PVT4-Z』が大好評!!



玉ねぎ移植機  
(1~4月台数ベース、北海道)



# 国内 農業の国際競争力強化

≫ 国家戦略特区 新潟市

「スマート農業企業間連携実証プロジェクト」参画

## ドローン

葉色解析サービス  
「いろは」

 **SkymatiX**  
Remote Sensing as a Service

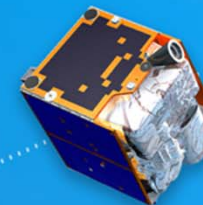


## 人工衛星

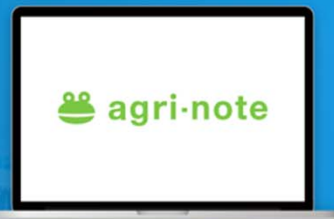
空から診る精密農業  
クラウド型営農支援サービス

「天晴れ」

Japan Asia Group  
 **国際航業**



## 営農支援システム



農業は、記憶から記憶へ  
アグリノート

 **water-cell**

 **ISEKI**

ICT農機

ISEKI  
アグリサポート



 **vegetalia**

センサー

・ Field Server



## 最先端の技術を組み合わせたスマート農業の実現

Smart Agriculture



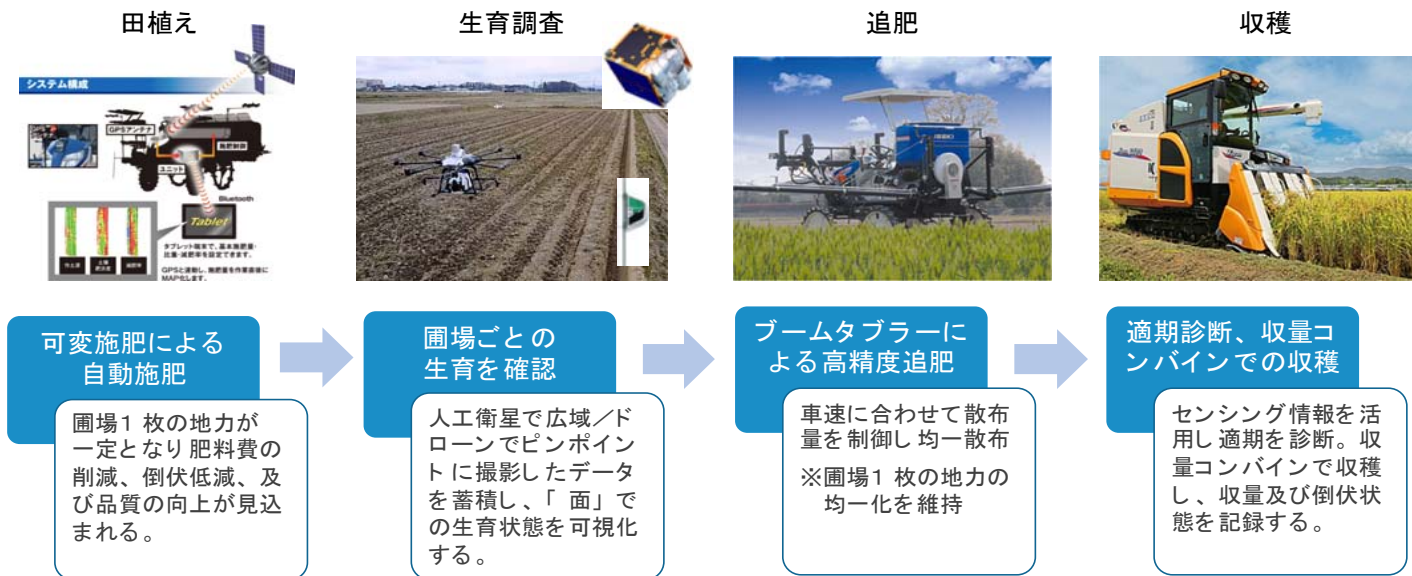
# 国内 農業の国際競争力強化

≫ 国家戦略特区 新潟市

「スマート農業企業間連携実証プロジェクト」参画

## ■プロジェクト概要

各企業の革新的技術の組み合わせデータを集約・一元管理し、  
稲作の省力化や低コスト化、高品質化に向けた定量的評価を実施

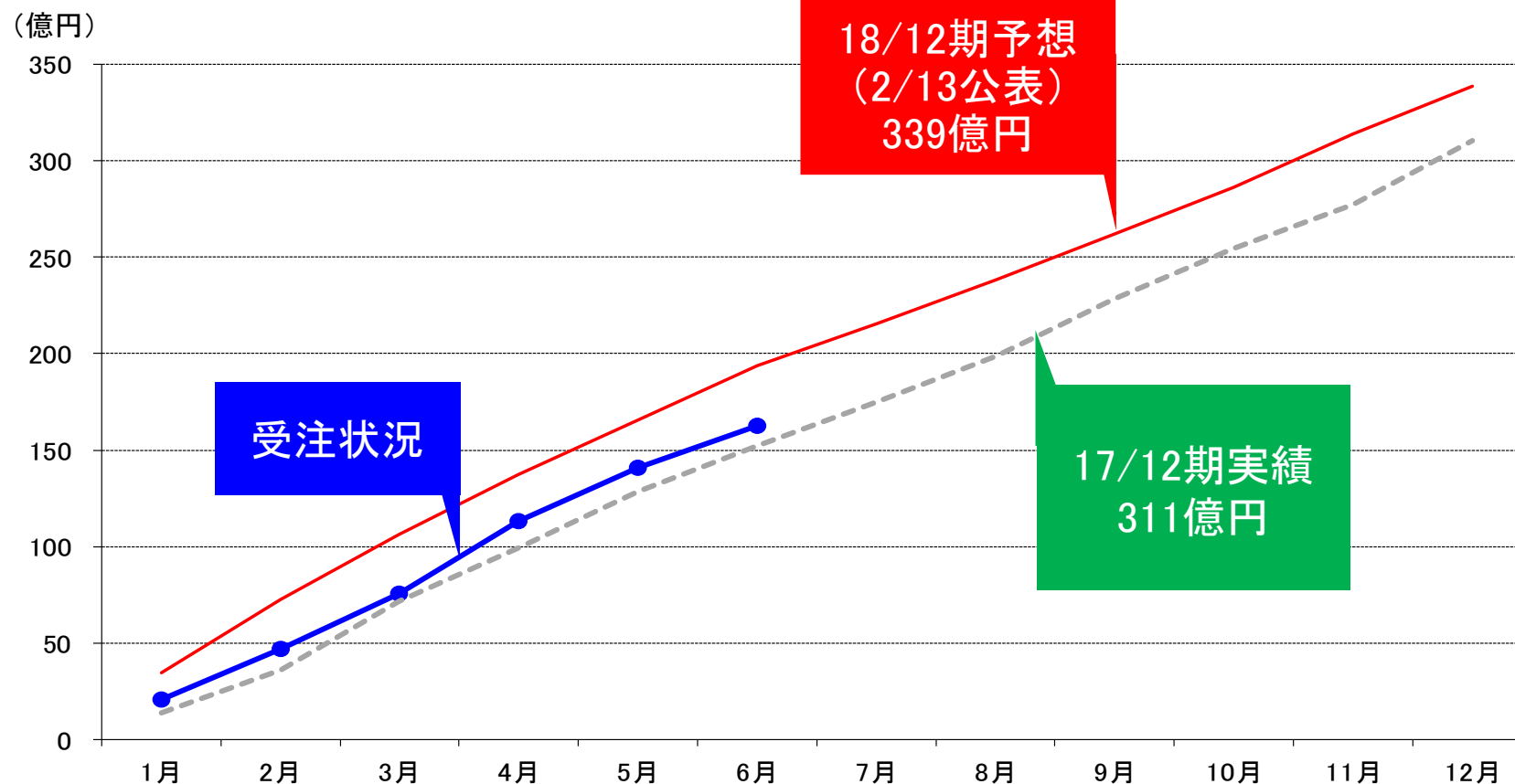


営農管理システム『アグリノート』で見える化

農業の国際競争力強化へ

# 海外製品売上の直近状況

≫ 更なる受注推進を図る



※製品ベース。「部品 その他」は含まず

# 海外市場の動向(北米)

≫ AGCO社実売は市場を上回って好調に推移

## 1. 市場の動向

(単位:千台、%)

区分(PTO馬力)	ユーティリティ (40~100HP)		コンパクト (40HP以下)		大型クラス (100PS以上)	
	米国	カナダ	米国	カナダ	米国	カナダ
2017年1-3月	12	1	13	26	2	28
2018年1-3月	12	1	13	26	2	29
増減率	100%	104%	100%	101%	104%	101%



(出所:AEM統計)

## 2. AGCO社(OEM先)の状況

実売台数(18/1-3月)

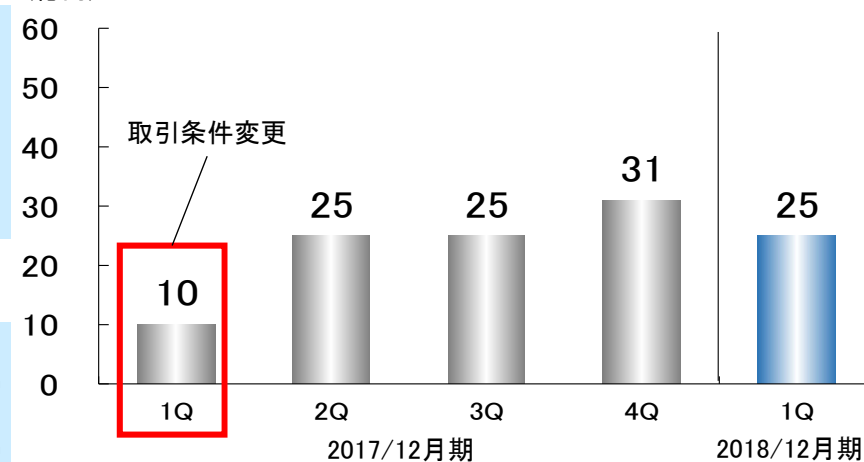
- ユーティリティ : 前年同期比 115%
- コンパクト : 前年同期比 120%

## 3. 当社の売上・受注状況

出荷・受注(18/1-6月) : 前年同期比 207%  
: 前々年同期比 108%

連結売上高(当社→AGCO社)の推移

(億円)



# 海外市場の動向（欧州）

≫ 商品力強化にて売上拡大を図る

## 1. 市場の動向

「農機市場の景況感は引続き肯定的」(欧州農業機械団体(CEMA)レポートより)\*3/19公表  
景観整備市場は天候不順により春製品のスタートは遅れたが、  
4月以降は回復基調

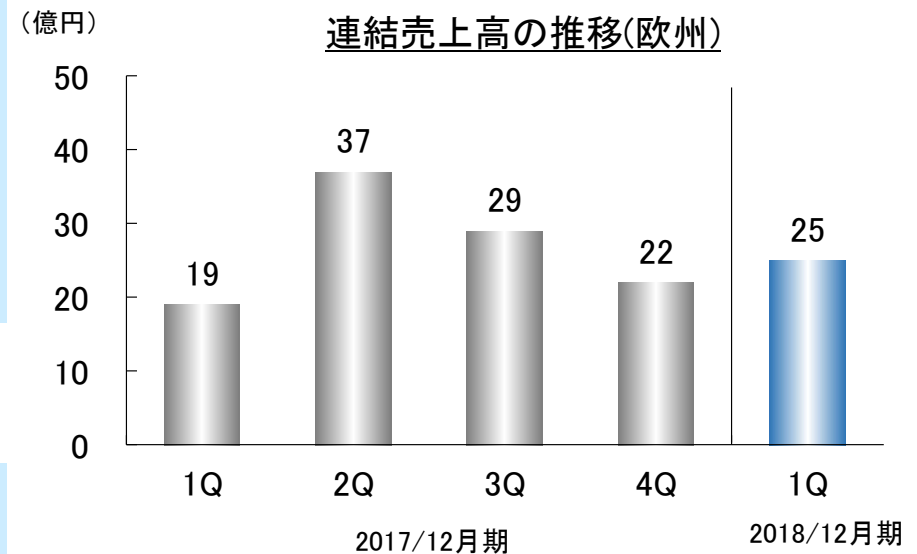
## 2. 現地の実売状況

### ➤ 実売(18/1-3月)

- ・現地販売代理店 : 前年同期比 86%  
(台数ベース)
- ・ISEKIフランス : 前年同期比 106%  
(連結子会社、金額ベース)

## 3. 当社の売上・受注状況

出荷・受注(18/1-6月) : 前年同期比 126%



# 海外市場の動向(欧州:イギリス)

≫ 新規代理店に出資。更なる売上拡大を図る

## 新規代理店 “プレミアム ターフケア社”

\* 出資: 当社44.5%

イギリスはフランス、ドイツに次ぐ主要マーケット  
マーケティングの強化・ディーラー網拡充によりシェアアップを図る



開所式の様子(2018年4月)



# 海外市場の動向（アセアン：タイ）

≫ 現地在庫調整により当社受注は遅れているものの、  
現地実売は好調

## 1. 市場の動向

足許では米価上昇。タイの米の在庫量も低下してきていることから、  
今後米価上昇による需要増期待。

## 2. 現地販売会社〔IST Farm Machinery〕の状況 【三菱商事80%、当社20%出資】 (Iseki Sales (Thailand)から社名変更)

現地実売台数(アセアン戦略トラクタ、1-3月)：前年同期比 125%

## 3. 当社の売上・受注状況

出荷・受注(18/1-6月)：前年同期比 72%



# 海外市場の動向(アセアン:その他)

≫ インドネシア入札:コンバイン減少もトラクタ、田植機は増加

## ■ インドネシア

### ➤ 市場動向

2015年から続く政府主導の機械化推進(政府入札)

### ➤ 当社状況

入札対象機種は年度により変化。コンバインは減少、トラクタ、歩行田植機は前年を上回る。

## ■ その他(ミャンマー等)

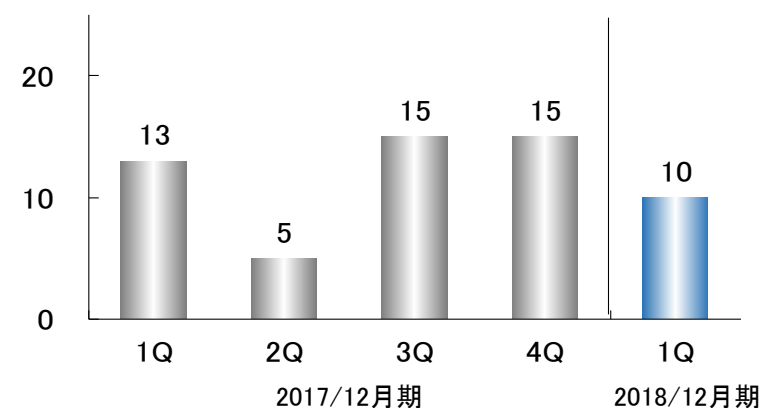
### ➤ 市場動向

機械化進展により需要が見込める。

### ➤ 当社状況

IST Farm Machinery、AGCO社と共に事業領域の拡大を図る。

(億円) 連結売上高の推移(アセアン)



# インドネシア事業収益改善

≫ 計画通り黒字を維持。増産へ向け体制整備

## PT.井関インドネシアの状況

(単位:台、億円)

	2014年 実績	2015年 実績	2016年 実績	2017年 実績	2018年 計画	2018年 1-3月
生産台数	1,100	3,900	7,300	8,400	12,000	2,700
売上高	14	45	79	96	115	26
営業利益	△3	△4	△3	3	3※	1

※2018年は井関単体との単価改訂2億円を計画。実質営業利益は5億円。

## <PT.井関インドネシア増産体制へ>

現有生産能力  
10,000台/年

2019年: 15,000台/年  
2021年: 20,000台/年



# 海外市場の動向(中国)

➤ 補助金は前年同水準も補助金の配分発表遅れ、米麦価格の下落により市場全体で買い控え傾向

## 1. 市場の動向

### ■ 中央政府補助金

(億元)

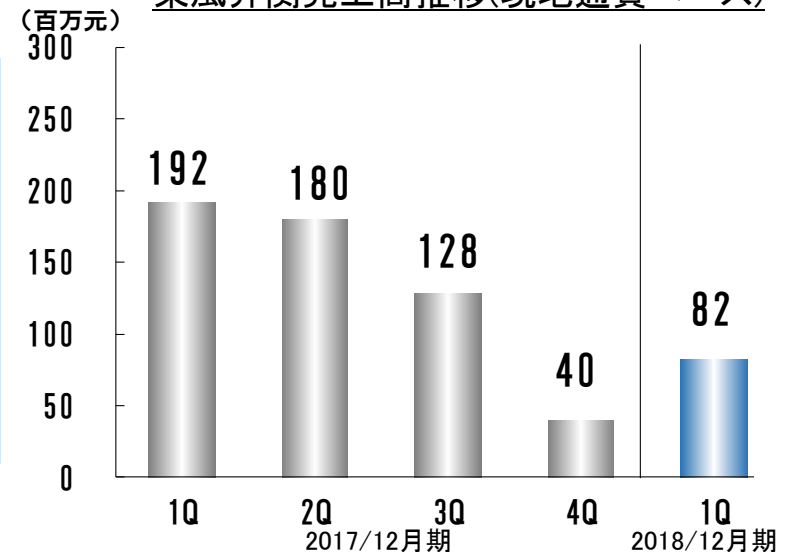
2012年	2013年	2014年	2015年	2016年	2017年	2018年
215	217.5	238	238	237	186	186

## 2. 東風井関の状況

### 東風井関の販売状況(18/1-3月)

- 中国国内販売は、補助金配分発表遅れの影響により、田植機が減少
- アセアン向け輸出は、インドネシア向けコンバインが減少

### 東風井関売上高推移(現地通貨ベース)



## 3. 2018年12月期 業績予想

# 2018年12月期 連結業績予想

≫ 当初予想から変更無し

## 連結業績予想

(単位:億円)

	17/12期 実績		18/12期 予想 (2月13日公表)		前期比	
	2Q累計	通期	2Q累計	通期	2Q累計	通期
売上高	802	1,584	860	1,645	+58	+61
営業利益	28	40	20	45	△8	+5
経常利益	34	42	18	43	△16	+1
親会社株主に帰属する 当期純利益	22	28	16	32	△6	+4

※想定為替レートは、米ドル110円(継続)、ユーロ130円(継続)

## 為替感応度(営業利益、通期ベース)

	18/12期
米ドル	9
ユーロ	18

(単位:百万円)

# 4. トピックス

## - 営農普及サポートの取組み -

# 行政と連携した地域活性化支援

## ① 和歌山県 畑ごんぼ栽培

2011年～（地域伝統作物の復活）



●トラクタ、ごぼう収穫機導入

## ② 石川県 能登大納言栽培

2013年～（小豆の多収栽培技術提案）



●ロークropp式コンバイン導入

## ③ 三重県 ゴマ機械化栽培

2016年～（ゴマの産地化拡大支援）



●大豆コンバイン、乗用管理機、野菜移植機、平型乾燥機2台、成形機、播種機導入

## ④ 茨城県 そば機械化栽培

2016年～（地元産そばで地域活性化）



●乗用管理機用作業機導入

# 異業種参入企業へのサポート

- ① **なんかいファーム** (神奈川県) 2011年～  
「複写機用消耗品の再生事業」  
●米、大豆、野菜



●トラクタ、コンバイン、たまねぎ移植機導入

- ② **あぐりんく** (山口県) 2012年～  
「生活協同組合」  
●米、小麦、果樹



●トラクタ、田植機、コンバイン、乾燥機導入

- ③ **JR九州ファーム糸島農場** (福岡県) 2016年～  
「旅客鉄道」  
●露地野菜(にんじん、キャベツ、大根等)



雑草だらけの耕作放棄地



除草作業



土壌病害対策として  
太陽熱を利用した土壌消毒



●トラクタ、トラクタ作業機各種、  
野菜移植機、管理機等導入

# 将来の見通しに関する記述についての注意

- ・本資料は、情報提供を目的として作成しており、本資料による何らかの行動を勧誘するものではありません。
- ・本資料は、現時点で入手可能な情報に基づき、当社が作成したものでありますが、潜在的リスクや不確実性が含まれており、経済情勢や市場動向の変化等により実際の結果と必ずしも一致するものではありません。
- ・ご利用に際しては、ご自身の判断でお願い致します。

本資料に掲載している業績予想や目標数値に依存して投資判断を下すことによって生じ得るいかなる損失に関しても、当社は責任を負いません。



安心を、未来へつなぐ食料自給率1%アップ運動  
**FOOD ACTION NIPPON**

井関グループは FOOD ACTION NIPPON の推進パートナーです。



未来の  
ために、  
いま選ぼう。

井関グループは、  
環境省による地球温暖化対策に資するあらゆる「賢い選択」を  
促す国民運動である【COOL CHOICE】の取組みに賛同しています。  
「賢い選択」の提案として「エコ商品」など  
環境に配慮した商品の開発普及を推進しています。